2024年度 春 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL54524A05）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	D230 電気・電子機器・設備	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

教育・スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

アルア・ラゲム職業訓練校

3）任地（ アルア県アルア ） JICA事務所の所在地（ カンパラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 8.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

1990年設立の公立の職業訓練校。自動車、電気、電子機器、溶接、配管、建築、服飾、木工の8学科がある。前期中等教育修了者(日本の中学校卒業程度)対象の基礎コース(2年、資格取得)と青年育成を目的とした短期コース(1か月～1年)がある。現在、基礎コースに約400名、短期コースには約100名が在籍している。教員数35名。韓国政府による各種指導教具・教材供与、研修実施の実績がある。これまで日本が50年に渡り、ウガンダの職業訓練を支援してきたことから、JICAが実施した教員研修への参加経験者や、別の職業訓練校で過去にJICA海外協力隊と同僚であった教員がいる。

【要請概要】

1）要請理由・背景

ウガンダでは近年の好調な経済成長を受け、住居やビル等の建設が増加しており、電気工事士の需要が高まっている。そのため電気科は、配属先の中で最も生徒数が多い人気の学科となっている。電気回路、動力装置制御など、基礎的な理論の授業は、カリキュラムに基づき現地教員が十分に行えているが、生徒数の多さも合わさり、実践的な実技習得のための実習が十分に実施できていないため、今回の要請がなされた。配属先長は、JICA海外協力隊と同僚教員との協働を通じて、学科の授業全体の質が向上することを期待している。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.電気科生徒に対する実習授業の実施(電気回路、屋内配線、電気設備メンテナンス(保守)等)
2.同僚教員による理論の授業のサポート(視聴覚教材の作成支援など)
3.同僚に対する指導面、技術面での助言

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電気実習パネル(11台、YESO1社)、デジタル・オシロ・スコープ(11台、Tectronix社)、絶縁抵抗計(11台、Fluke社)、デジタル・マルチメーター(11台、Fluke社)、工具類

4）配属先同僚及び活動対象者

1. 電気科専任教員4名(男性30～40代、電気準学士(Diploma)、指導経験5～10年。
2. 電気科生徒(日本の中学校卒業程度) :約60名(16～25歳位)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（高卒）電気･電子　備考：同僚の教育水準と合わせる

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：実践的な内容の指導に必要

[参考情報]：

・第一種または第二種電気工事士の取得必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（15～30°C位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（不安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

同校では自動車科でも隊員の要請があるため、同時期にJICA海外協力隊が派遣される場合もある。
同校敷地内にある教員住宅に居住予定。週に2回程度の停電。
任地での生活使用言語は、英語もしくは現地語の一つであるアルール語。現地訓練期間に語学研修を行う。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.